

資料提供	
提供日	令和4年3月23日
担当課室	有田振興局農地課
担当者	宮澤・林
電話	(0737)64-1265(直通)

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」

認定式及び認定証授与式を開催します。

認定地区

- ・上湯・あらぎ島
- ・沼の棚田・段々畑
- ・久野原の棚田
- ・沼谷「天空の棚田」
- ・杉野原の棚田

全国では271地区、県内では橋本市(芋谷の棚田)、紀美野町(中田の棚田)、那智勝浦町(色川の棚田群)が認定。

・日時：令和4年3月25日(金) 13:30～15:00(予定)

・場所：有田川町清水行政局 2階 大会議室
有田川町清水 387-1

・開催方法：前半の認定式は農林水産省とオンライン接続し実施、後半の認定証授与式は、清水行政局において、中山正隆有田川町長より認定証を伝達していただきます。

・式次第：

認定式

13:30～14:00

祝辞(13:30～13:35) 金子 原二郎 農林水産大臣

記念講演(13:35～13:55) 水柿 大地 つなぐ棚田選定委員長

閉会挨拶(13:55～14:00) 牧本 幸司 農林水産省農村振興局長

認定証授与式

14:00～15:00

挨拶(14:00～14:10) 中山正隆有田川町長

認定証授与(14:10～14:20)

写真撮影(農林水産大臣、農村振興局長、選定委員会委員長の合成画面)

・参加者：

上湯・あらぎ島の棚田地域振興協議会 会長 北林 利樹

沼の棚田・段々畑地域振興協議会 会長 伊澤 頼宣

久野原の棚田地域振興協議会 会長 岩見 晏秀

沼谷の棚田地域振興協議会 会長 植野 克己(副会長 山本 勝敬)

杉野原の棚田地域振興協議会 会長 松本 博光

認定地区の概要

<p>・ 上湯・あらぎ島（有田川町清水地内）面積：18.8ha 保全団体：上湯・あらぎ島の棚田地域振興協議会</p> <p>「日本の棚田百選」であり、「蘭島及び三田・清水の農山村景観」は国の重要文化的景観に選定されています。棚田を含む農村の原風景を保全・活用するため、共同で棚田保全活動に取り組み、目立ちにくい鳥獣害防止柵の設置など景観に配慮した整備を推進しています。地域住民により景観への理解度を高める勉強会等を実施し、さらにパンフレット等により来訪者に地域への理解と保全活動への参加をPRしています。</p> <p>また、棚田ウォーク等のイベント開催や学生ボランティア募集などにより棚田に関わる人口の増加に取り組んでいます。</p>
<p>・ 沼の棚田・段々畑（有田川町沼地内）面積：41.4ha 保全団体：沼の棚田・段々畑地域振興協議会</p> <p>国内随一の傾斜度と言われる棚田や地域の伝統行事などを保全・継承するため、和歌山大学観光学部との域学連携活動を実施しています。学生による草刈りや山椒の収穫等の援農活動により耕作放棄地の増加を防止し、学生と共に作成した地域のシンボルマークを活用した農産物のブランド化に取り組んでいます。</p> <p>また、秋祭りなどの地域の伝統行事にも学生が参加し、地元料理の体験や行事の運営支援により、伝統文化の継承にも取り組んでいます。</p>
<p>・ 久野原の棚田（有田川町久野原地内）面積：32.7ha 保全団体：久野原の棚田地域振興協議会</p> <p>耕作放棄地の増加防止のため、新規耕作者への農業機械のあっせんや営農指導など、新たな担い手の確保・定着に向けた取組を行い、地域ぐるみで農村の保全に取り組んでいます。</p> <p>また、町内最大のゲンジボタルの生息地で保護活動や観察会を実施し、自然や農村の重要性について情報発信することで、美しい景観を保全・継承できるよう取り組んでいます。</p> <p>一般公開を休止している「久野原の御田舞」の保全・継承にも取り組んでいます。</p>
<p>・ 沼谷「天空の棚田」（有田川町沼谷地内）面積：10.8ha 保全団体：沼谷の棚田地域振興協議会</p> <p>標高が高い地域特性を活かし、棚田米、トマト等の高原野菜、ぶどう山椒等を生産しています。</p> <p>ぶどう山椒については、民間企業の労働力を活用して、耕作放棄地への導入や水田からの転作等による生産面積の拡大や六次産業化に取り組んでいます。</p> <p>また、耕作放棄地等を活用し、郷土料理であり特産品となっている「わさび寿司」に利用する畑わさびの栽培を推進しています。</p> <p>地域で楽しみながら「岩坂観音」で行うジャズコンサートなど地域の素晴らしさのPRにも、取り組んでいます。</p>
<p>・ 杉野原の棚田（有田川町杉野原地内）面積：16.1ha 保全団体：杉野原の棚田地域振興協議会</p> <p>農産物直売所を開設し、野菜や特用林産物等を販売することで来訪者を増やすとともに、定期的に「杉野原ふるさと市」としてイベントを開催することで、美しい四季の田園風景や特産品など地域の魅力を発信しています。</p> <p>また、地域女性グループ「ししがせ娘」による廃校を利用した農産物の加工、農泊の推進など棚田に関わる人口の増加や地域の活性化に取り組んでいます。</p> <p>一般公開を休止している「杉野原の御田舞」の保全・継承にも取り組んでいます。</p>